

令和4年度における決算の状況

1 総括事項

令和4年度は、令和3年度に引き続き、「県立病院中期計画（2017）」を踏まえて「自立した経営基盤のもと、質の高い高度・先進的な専門医療と政策医療の提供を通して、誰もが納得し、誰からも信頼される病院」を目指すべき方向として取り組んでまいりました。

新型コロナウイルス感染症の流行が収束しない1年間でしたが、三つの医療センターはそれぞれの専門領域における県内の中核病院としての機能を維持しながら、愛知県の新型コロナウイルス感染症対策においても役割を果たしてまいりました。がんセンターでは、令和3年度から引き続き「愛知県がんセンター名古屋空港ターミナルビル診療所」を設置し、新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種を実施しました。精神医療センターでは、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる県内唯一の精神科病院として、令和2年度から引き続き病床を確保し、積極的に患者受入れを行いました。また、あいち小児保健医療総合センターでは、県内唯一の小児専門病院として新型コロナウイルス感染症患児の受入れを行うとともに、小児用ワクチン接種医療機関として、令和4年3月から「あいち小児保健医療総合センター名古屋空港ターミナルビル診療所」を設置し、新型コロナウイルスワクチンの大規模集団接種を実施しました。

経営面におきましては、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る収支差が減少するとともに、新型コロナウイルス感染症の第7波及び第8波がこれまでを上回る規模となった影響を受け、がんセンターとあいち小児保健医療総合センターにおいて診療制限を余儀なくされて患者数が減少しました。また、燃料費高騰の影響を受け、光熱費が大きく増加しました。そのため純損益は、前年度の15.4億円と比較して24.8億円悪化し、9.4億円の赤字となりました。

2 患者診療状況

令和4年度の患者診療状況については、第1表のとおりであり、入院患者延べ207,302人及び外来患者延べ277,451人を診療しました。

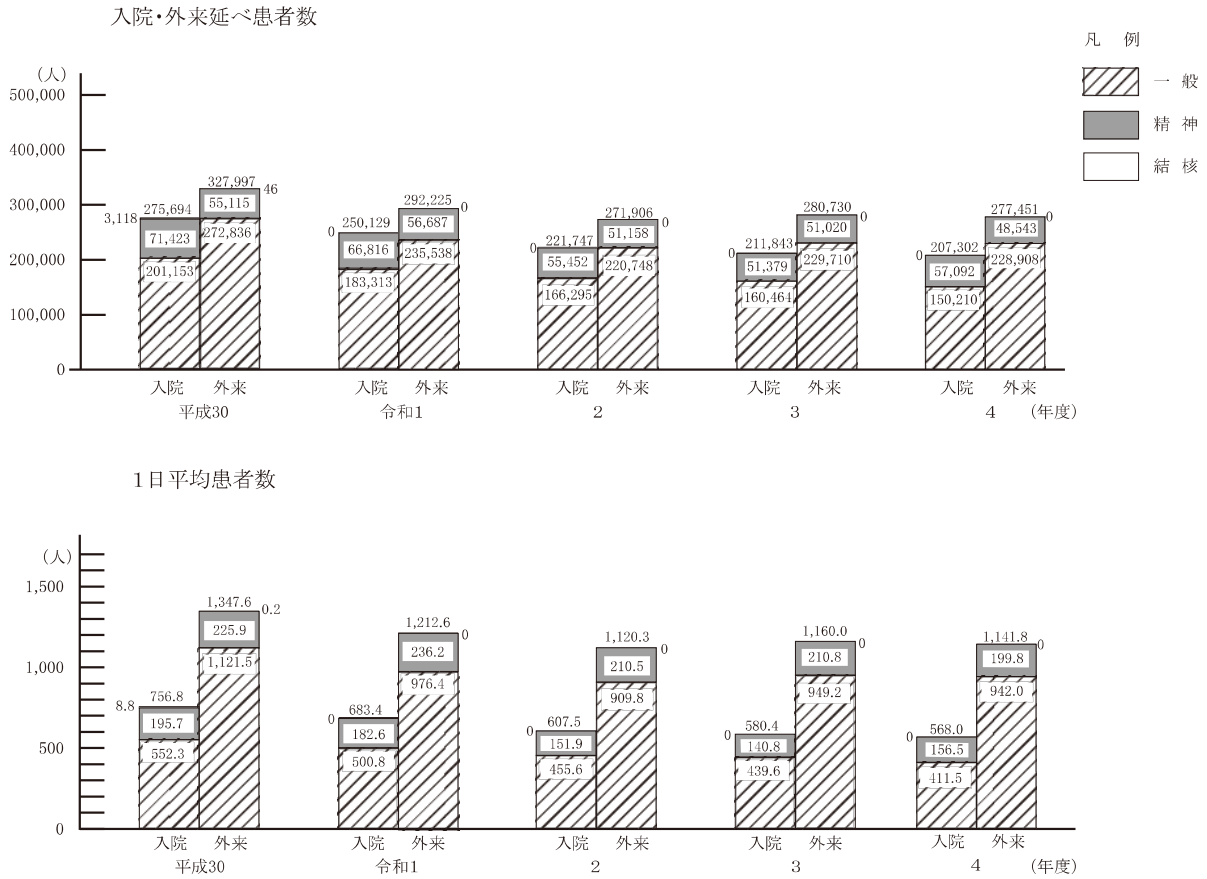
なお、患者状況の年度別推移については、第1図のとおりです。

第1表 令和4年度患者診療状況 (単位 人)

区 分	一 般		精 神		計		
	入 院	外 来	入 院	外 来	入 院	外 来	
がんセンター	延べ患者数	109,389	143,148	—	—	109,389	143,148
	1日平均患者数	299.7	589.1	—	—	299.7	589.1
精神医療センター	延べ患者数	—	—	57,092	48,543	57,092	48,543
	1日平均患者数	—	—	156.5	199.8	156.5	199.8
あいち小児保健医療総合センター	延べ患者数	40,821	85,760	—	—	40,821	85,760
	1日平均患者数	111.8	352.9	—	—	111.8	352.9
計	延べ患者数	150,210	228,908	57,092	48,543	207,302	277,451
	1日平均患者数	411.5	942.0	156.5	199.8	568.0	1,141.8

令和4年度決算の状況

第1図 患者状況の年度別推移



3 収益的収入及び支出

令和4年度の収益的収支は、第2表から第4表まで及び第2図のとおりであり、病院事業収益39,469,733,136円(39,240,250,975円)に対し、病院事業費は40,385,249,635円(40,176,806,895円)で、差引き936,555,920円の純損失となりました。

また、前年度からの繰越欠損金は44,374,364,998円で、これに当年度純損失936,555,920円を加え、当年度未処理欠損金45,310,920,918円となっています。

(注) () は、消費税及び地方消費税を除いた額

第2表 令和4年度収益的収支

収入 (単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	決 算 増 減
第1款 病院事業収益	44,096,802,000	39,469,733,136	△4,627,068,864
第1項 医業収益	36,838,239,000	30,809,057,230	△6,029,181,770
第2項 医業外収益	7,232,861,000	8,634,973,906	1,402,112,906
第3項 特別利益	25,702,000	25,702,000	0

備考 △印は、減額を示す。

支出 (単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額
第1款 病院事業費	43,856,915,000	40,385,249,635	3,471,665,365
第1項 医業費用	42,843,162,000	39,485,111,249	3,358,050,751
第2項 医業外費用	566,164,000	557,231,294	8,932,706
第3項 特別損失	437,589,000	342,907,092	94,681,908
第4項 予備費	10,000,000	0	10,000,000

令和4年度決算の状況

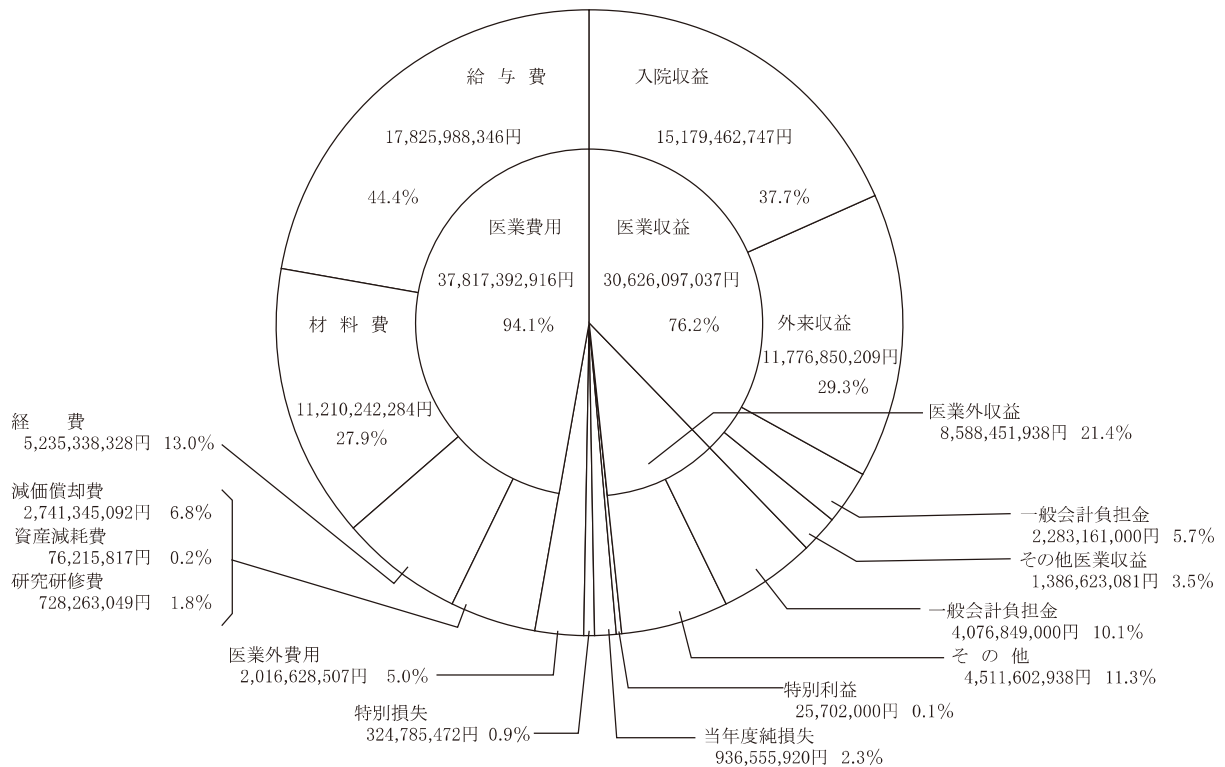
第3表

損益計算書 (令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	金 額	科 目	金 額
医 業 費 用	37,817,392,916	医 業 収 益	30,626,097,037
給 与 費	17,825,988,346	入 院 収 益	15,179,462,747
材 料 費	11,210,242,284	外 来 収 益	11,776,850,209
経 費	5,235,338,328	一 般 会 計 負 担 金	2,283,161,000
減 価 償 却 費	2,741,345,092	そ の 他 医 業 収 益	1,386,623,081
資 産 減 耗 費	76,215,817	医 業 外 収 益	8,588,451,938
研 究 研 修 費	728,263,049	一 般 会 計 補 助 金	1,654,473,300
医 業 外 費 用	2,016,628,507	国 庫 補 助 金	109,896,740
支払利息及び企業債取扱諸費	215,072,173	一 般 会 計 負 担 金	4,076,849,000
長期前払消費税償却	193,060,148	資 本 費 繰 入 収 益	1,673,962,000
雑 損 失	1,608,496,186	長 期 前 受 金 戻 入	281,276,967
特 別 損 失	342,785,472	そ の 他 医 業 外 収 益	791,993,931
そ の 他 特 別 損 失	342,785,472	特 別 利 益	25,702,000
計	40,176,806,895	当 年 度 純 損 失	936,555,920
		計	40,176,806,895

第2図 令和4年度損益図



令和4年度決算の状況

第4表

経営状況の推移

(単位 千円)

区 分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業収益(A)	39,192,312	38,682,750	40,188,703	40,912,631	39,240,251
うち一般会計負担金(B)	6,909,787	5,972,936	6,403,135	6,490,057	6,360,010
事業費用(C)	40,908,710	39,339,069	39,497,174	39,368,624	40,176,807
当年度純損益(A)-(C)	△1,716,398	△656,319	691,529	1,544,007	△936,556

備考 △印は、損失額を示す。

4 資本的収入及び支出

令和4年度の資本的収支は第5表のとおりであり、資本的収入2,606,895,599円に対し、資本的支出が3,798,341,174円となっています。

なお、資本的収入額が資本的支出額に不足する額1,191,445,575円は、当年度分損益勘定留保資金281,897,424円で補てんし、長期借入金909,548,151円で措置しました。

第5表

令和4年度資本的収支

収入

(単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	決 算 増 減
第1款 資本的収入	2,977,435,000	2,606,895,599	△370,539,401
第1項 企業債	1,179,600,000	824,000,000	△355,600,000
第2項 他会計負担金	1,679,842,000	1,679,842,000	0
第3項 他会計補助金	163,000	21,721,700	21,558,700
第4項 国庫支出金	0	462,000	462,000
第5項 雑収入	117,830,000	80,869,899	△36,960,101

備考 △印は、減額を示す。

支出

(単位 円)

区 分	予 算 額	決 算 額	翌年度繰越額	不 用 額
第1款 資本的支出	4,227,929,000	3,798,341,174	0	429,587,826
第1項 建設改良費	267,649,000	225,135,504	0	42,513,496
第2項 資産購入費	1,598,923,000	1,211,850,567	0	387,072,433
第3項 企業債償還金	2,361,357,000	2,361,355,103	0	1,897

5 財政状況

令和5年3月31日現在における財政状況は、第6表及び第3図のとおりです。

令和4年度決算の状況

第6表

貸借対照表
(令和5年3月31日現在)

(単位 円)

借方		貸方	
科目	金額	科目	金額
固定資産	38,249,619,101	固定負債	31,428,892,975
有形固定資産	36,423,816,141	企業債	20,778,469,742
土地	5,700,068,085	建設改良費等の財源に充てるための企業債	19,589,215,742
建物	23,646,825,312	その他の財源に充てるための企業債	1,189,254,000
構築物	1,414,864,829	他会計借入金	3,300,000,000
器械備品	4,197,462,893	リース債務	1,136,828,876
車両	4,736,032	引当金	6,213,594,357
リース資産	1,447,498,990	退職給付引当金	6,213,594,357
その他有形固定資産	12,360,000	流動負債	8,216,005,714
無形固定資産	39,007,208	企業債	2,360,051,645
電話加入権	5,301,880	建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,358,805,645
リース資産	25,496,800	その他の財源に充てるための企業債	1,246,000
その他無形固定資産	8,208,528	リース債務	471,601,088
投資その他の資産	1,786,795,752	未払金	4,028,196,532
長期前払消費税	1,779,451,423	引当金	1,106,612,846
その他投資	7,344,329	賞与引当金	923,244,846
流動資産	7,847,167,250	法定福利費引当金	183,368,000
現金・預金	1,717,536,492	その他流動負債	249,543,603
未収金	5,881,359,156	繰延収益	4,623,588,613
貯蔵品	221,333,402	長期前受金	10,317,781,617
前払費用	61,300	受贈財産評価額	531,749,543
未収消費税還付金	26,876,900	国庫補助金	3,016,074,553
		他会計負担金	4,286,767,739
		他会計補助金	136,175,284
		その他長期前受金	2,347,014,498
		長期前受金収益化累計額	△5,694,193,004
		資本金	46,110,006,670
		剰余金	1,029,213,297
		資本剰余金	1,029,213,297
		受贈財産評価額	14,899,267
		国庫補助金	744,000
		他会計負担金	1,013,570,030

令和4年度決算の状況

		欠 損 金	45,310,920,918
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	45,310,920,918
計	46,096,786,351	計	46,096,786,351

備考 貸方の合計額は、欠損金が生じているため、固定負債、流動負債、繰延収益、資本金及び剰余金の合計から欠損金を差し引いた額である。

第3図 貸 借 対 照 図
(令和5年3月31日現在)

資 産		負 債 ・ 資 本	
資 産	固 定 資 産	有 形 固 定 資 産	負 債
		無 形 固 定 資 産	固 定 負 債
		投 資 そ の 他 の 資 産	流 動 負 債
		流 動 資 産	繰 延 収 益
		資 本	資 本 金
			資 本 剰 余 金
		欠 損 金	剰 余 金

有形固定資産
36,423,816,141円
79.02%

無形固定資産
39,007,208円 0.08%

投資その他の資産
1,786,795,752円 3.88%

流動資産
7,847,167,250円 17.02%

固定負債
31,428,892,975円
68.19%

流動負債
8,216,005,714円
17.82%

繰延収益
4,623,588,613円 10.03%

資本金
46,110,006,670円
100.03%

資本剰余金
1,029,213,297円
2.23%

- 備考 1 負債・資本の合計は、欠損金が生じているため、負債・資本金及び剰余金の合計から欠損金を差し引いた46,096,786,351円（資産の合計と一致）になる。
- 2 図中の構成比は、この46,096,786,351円に対する比率を示す。